

## 地域福祉における WHO「セーフコミュニティ」活動 の意義

報告者  
白石陽子(マチュールライフ研究所)

## 研究報告の流れ

1. 研究の背景と目的
2. WHO「セーフコミュニティ(SC)」とは何か
3. 地域福祉との接点
4. 事例(京都市亀岡市)
  - ・ 亀岡市の取組み状況
  - ・ SCに関するアンケート調査の結果
  - ・ SCと地域福祉の共通する側面
5. 考察

Mature Life Institute

2

## 1. 研究の目的と背景

- わが国では、地域福祉への取組みが進められている。
- 一方、世界に目を向けるとWHOが推進する「セーフコミュニティ」という活動がある。
- この「セーフコミュニティ」の取組みは、わが国の地域福祉の推進にどのような影響を与えることができるのか。
- その意義と役割について、現在セーフコミュニティ活動に取り組んでいる京都市亀岡市の事例をとりあげ、考察を加える

Mature Life Institute

3

## 2. 「セーフコミュニティ」とは

- WHO地域の安全向上のための協働センター(CSP協働センター)が推進

外傷や事故など健康の阻害因子を  
コミュニティレベルで予防

だれもが安心して生活できる  
安全なまちづくり

世界で110のコミュニティがSC認証を受ける

Mature Life Institute

4

## 「セーフコミュニティ(SC)」6指標

**連携の仕組み** 関連分野やアクターの連携を基盤とする組織の設置

**地域の実情にあった継続的なプログラム** 全ての性別・年齢・環境・状況をカバーする長期的、継続的なプログラムの実施

ハイリスクのグループおよび環境に焦点を当て、弱者グループを対象としたプログラムの実施

**評価の仕組み** 外傷発生頻度と原因を記録するプログラムの実施

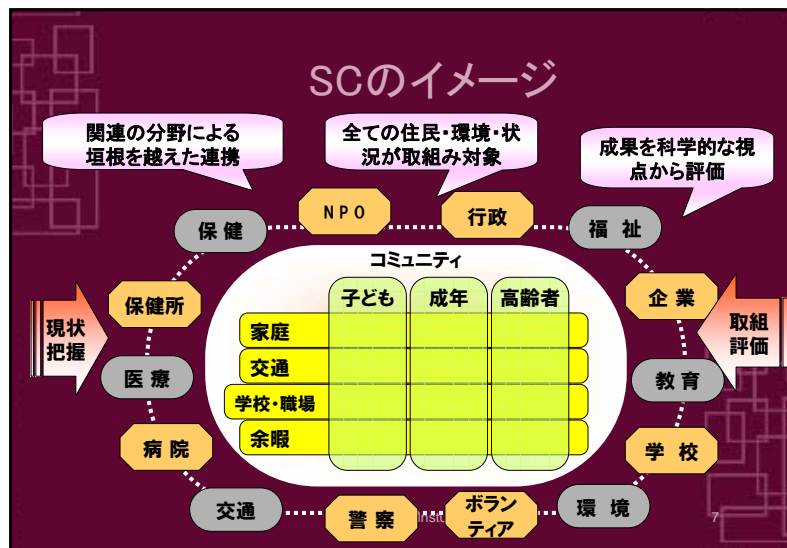
- プログラム、取組みのプロセスと効果をアセスメントするための評価基準の設置
- 国内及び国際的なセーフ・コミュニティネットワークへの継続的な参加

Mature Life Institute 5

## SC活動の範囲

		子ども	青少年	成年	高齢者
環境	家庭	風呂での溺水、やけど	やけど	火事 転倒	転倒
	学校	学校での事故 やケガ	学校での事故や ケガ		
	職場		バイト先の事故	職場での事故 労働環境問題	作業中のケガ
	レジャー	公園でのケガ プールの溺水	運動中のケガ	レジャーの事故	
	交通	登下校の事故	自転車の事故 登下校の事故	バイク・車事故 移動中のケガ	歩行中の転倒
暴力		児童虐待	非行・家庭内暴力	DV	高齢者虐待
自殺		いじめ	いじめ	心の健康 (うつ)	心の健康 (うつ)
その他		障害児・者が安心して生活するうえでの課題			災害予防

Mature Life Institute 6



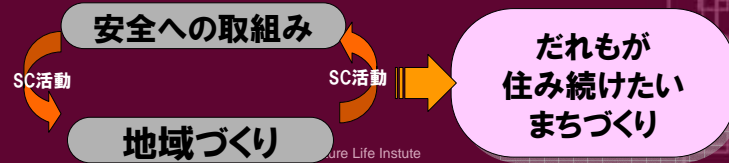
## 3. SCと地域福祉との接点

- 目標
  - あらゆる住民が健やかで安心した生活を送る
- 対象
  - 地域のすべての住民、あらゆる生活場面
- 取組みの主体者
  - 行政・住民・地域組織・企業・団体 etc ⇒ 連携
- アプローチ
  - 住民主体、地域の様々なアクターの協働
  - 地域の実情に合わせた課題設定と取組み

8

## 4. 事例 京都府亀岡市

- 人口約10万人
- 大都市に近い(京都、大阪)
  - ベットタウン化が進む、多い交通量 → 交通事故
- 豊かな自然
  - 保津川、山... → 自然災害



## (1) 亀岡市の取組み状況

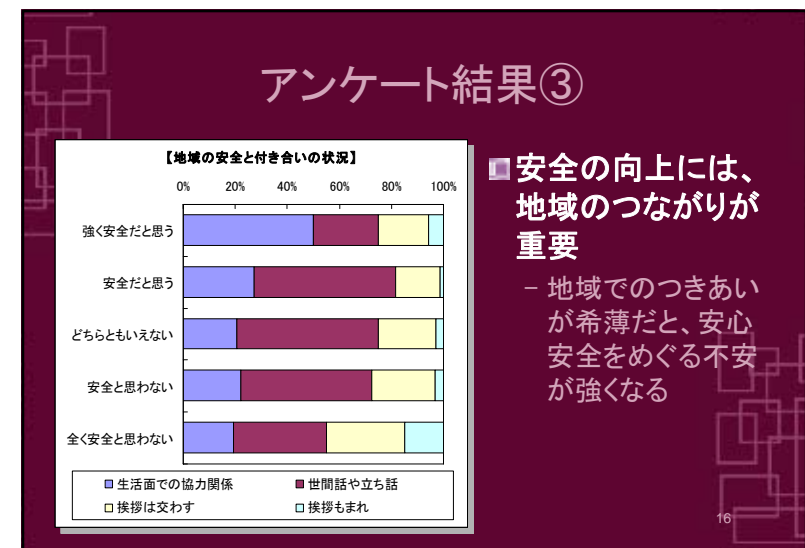
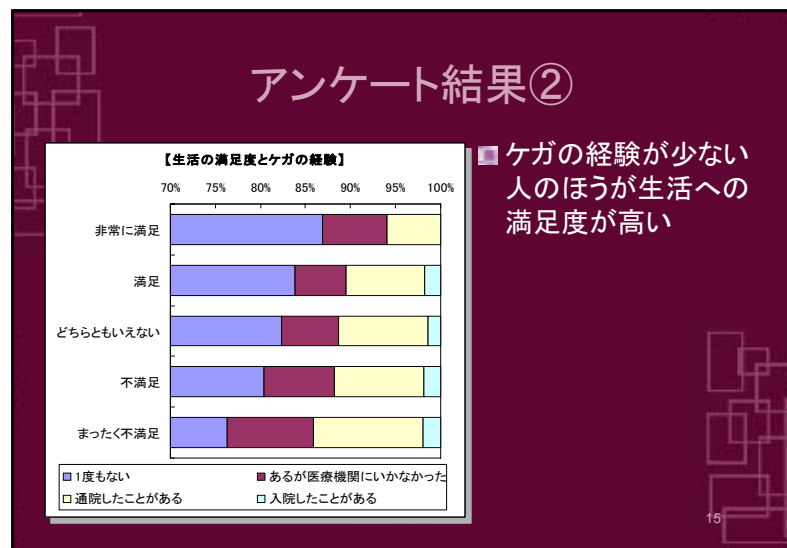
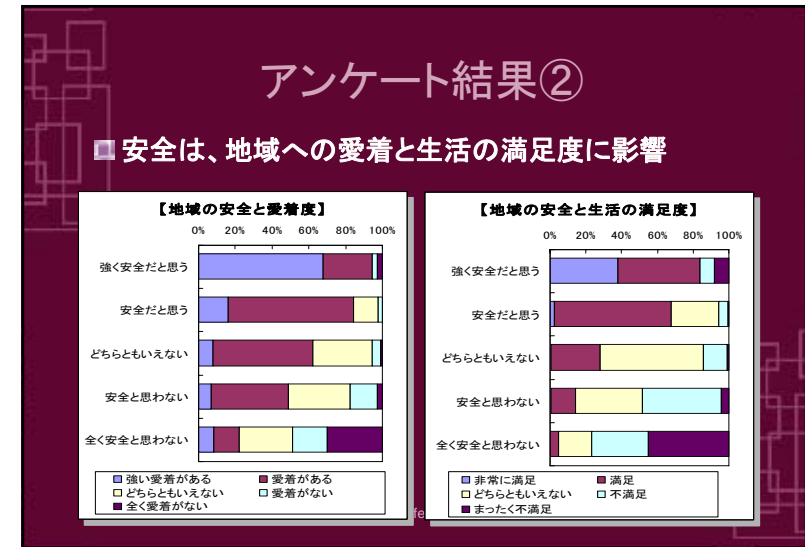
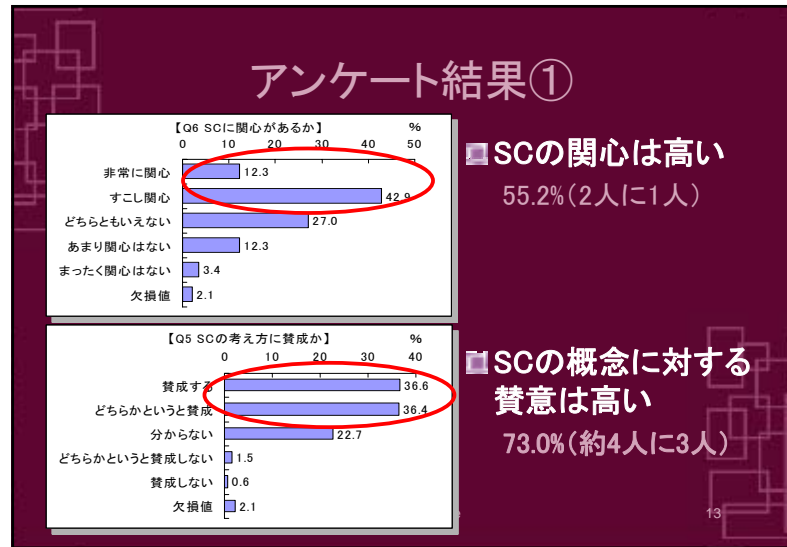


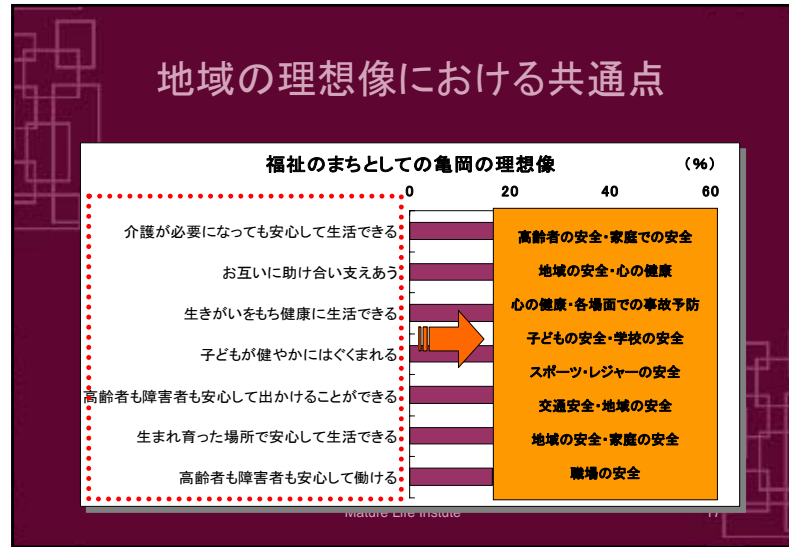
## (2) アンケート調査の実施

- 調査対象範囲(全居住世帯の約9割)
  - 2005年国勢調査人口 32,455世帯
  - 調査でカバーした範囲(91.2%) → 自治会加入者
- 配布と回収
  - 調査票: 世帯票(A3 1枚)、個人票(A4 1枚×4人分)
  - 配布: 07年2月初旬 自治会を通して29,612世帯へ
  - 回収: 07年2月26日までに郵送にて返送依頼
- 回収率; 24.2%(世帯)、20.9%(個人)
  - 7,157件(世帯)と16,036件(個人)

## 調査票の設計

- 世帯票 26問 <世帯代表者>
  - (H Face) 回答者と世帯構成
  - (H1) セーフコミュニティへの意識
  - (H2) 亀岡市での暮らしの評価
  - (H3) 事故・犯罪・災害の経験・不安
  - (H4) 世帯構成
  - (H5) 自由記述
- 個人票 17問 <18歳以上の個人>
  - (P Face) 個人属性
  - (P1) 身体的、精神的な健康度
  - (P2) 転倒・外傷経験の詳細





## 5. 考察

- SCへの住民の関心と賛意は高い
- 「安全」は、住民の生活の満足や地域への愛着に影響を与える
- SC活動と地域福祉に希望する地域の理想像には、共通点がある

**SCの推進による地域福祉への貢献**

- ⇒ 住民参加と地域の連携の仕組みの構築
- ⇒ 科学的な評価を用いたPDCAプロセスの構築
- ⇒ 取組みの継続性の確保

ご清聴ありがとうございました